

現状の高槻を考えるに、高槻はこれから異常なほどの高齢化が進みます。現在高齢化率 27.8%、30年先には 40%にもなる厳しい市運営になります。現状を打破ためには魅力のある街にして、人口移入率を上げることです。そのために何をすべきかでしょう。

高槻の特徴は何でしょうか？「高槻は観光資源が多い」「交通の便がよい」「財源が安定している」などです。高槻は面積では北摂で一番大きく、田舎と、都会の風土が備わった環境にも恵まれた街です。昭和の初め高槻は文教の街を目指しました。現在も大学が5校もあり、まだまだその素地はあります。故郷を大切に作る風土づくり、すなわち魅力のある街づくりが急がれています。(馬淵)

■鳥羽における高碓達之助

ー東洋水産株式会社の興亡ー (前編)

(10/2の例会での発表者北村後記として掲載)
(北村会員感想)

まずこのタイトルで発表する経緯を記すと、6月の歯舞漁協の方の話があった後、質問者の中に村上先生が居られたことに始まる。私は数年前に数回お会いしていたが、格好がラフだったので初めは「どの大学生か」と思うくらいであった。先生から渡されたのは「三重大学の研究紀要」で、百年前の三重大新聞の記事を元に論文にされた別刷りであった。時間をかけて数回読み、この内容を是非とも“高碓ファン”の皆さんにもお知らせしたい衝動に駆られた。

なにしろ、高碓が最初に勤めた水産会社であり、数年で倒産し、倒産の直前高碓はメキシコの会社に移っているの、東洋水産の中身を記した書物はない。勿論高碓が書いた書物の中には断片的には記されている。本来なら村上先生から話していただくのが筋であるが、先生の都合もあり、私が忠実に論文内容を備忘録も兼ねてパワーポイントに仕上げた物を使用した。

作成過程で、普段イワシはサカナで魚類という感覚で捉えていなかったと気づいた。実際の発表は、事実を話すだけなので、睡魔に襲われることは想像に難くない。(実際U氏など数名は意識がなかったのを見てしまった!)そこで、本題に入る前に、数日前に見た「戦艦大和の船員達の衣食住」で特にカレーのルーに含まれる「クルクミン」がいかに認知症や癌の予防に効果があるかを話して、いつまでも本会に参加していただける知力と体力の維持に役立ててもらおうと思った

実際の内容は二回に分けて話さないで終わらない分量で、以下の対立が興味深い。1. 中央(政府)と地方(三重県と愛知県)、2. 愛知県と三重県、3. 三重県でも伊勢湾岸と外海沿岸である。

■「高槻市は素晴らしい街です。もっと知りましょう」の講演行方

9月2、10、18、19日の4回にわたり約100名の参加の元、シニア100ネット高槻でお話しさせていただきました。

内容は高槻市の市バスの歴史を取り上げ、如何に街の発展に寄与したか、日経なんでもランキング1位の今城塚古墳、観光では北摂の山並みの美しさ、これからできる安満遺跡公園の壮大さ、などをお話ししました。

まとめとしては、高槻市は経済・行政に於いても、安定して安全な街!

文教を引き継ぐ風土が

まだまだ残っている街!

観光資源があり、アピール

でき街!と締めくくりました。

(馬淵)



【例会お知らせ】

10/9(水)見学会「岡崎嘉平太の記念館を訪ねる旅」他に「山田方谷記念館」

10/21(月)講演「私が見た流通業界」

* 今までの職場経験からお話します
宮本義秋会員

11/4(月)カフェ形式「高碓達之助の孫弟子としての企業人生のよもやま話」

東洋製罐元専務: 甘田外成

11/18(月)講演「軍歌史」

* 日本人の忘れてはならない精神を語ります。
三輪廣司会員

12/2(月)講演「鳥羽における高碓

達之助(後編)

* 会社の設立経緯と高碓の奮闘を語ります。
北村正信会員

* 村上三島翁を訪ねて第五弾取材中!!